

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	06	01	03	8513	生産施設等整備事業	
総合計画	分野	しごと				
	政策	1-1	農林業の振興			
	施策	3	生産基盤の整備			
目的	生産施設等の整備支援による担い手の育成と産地の拡大					
対象	農業者の組織する団体等					
意図	経営の基盤強化、複合化・多角化、6次産業化を促進する					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
農業用施設・機械の整備に関する補助						
○経営体育成支援事業（国事業、トンネル（H26→H27繰越）						
市民参画の有無 【 対象外 】						
市民協働の形態		共催 後援・協賛	実行委員会・協議会 補助・助成	事業協力・協定 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 事業実施主体数	経営体		計画		4	
			実績		4	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 経営面積を拡大した事業実施主体数の割合	%		目標		100.0	
			実績		100.0	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度		目標値より高い	○	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
・事業実施から3年後までに販売（生産）量を5%以上増加させることが必須要件となっている。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	・農畜産物の生産性の向上や産地拡大を推進するための支援。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	・導入された施設等を効果的に活用することで、販売量の増加が可能となる。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	・事業毎に定められている要綱等に応じた負担をするものである。
	<input type="radio"/> 事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	・事業要綱によって受益と負担の区分が明確化されている。
	<input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価 …上記評価結果の総括		
・意欲ある農業者を支援する制度であるほか、新たな農業展開がなされることによって雇用の創出や人材の育成が図られるものであることから、今後も事業を推進していく。		

平成 27 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

担当部署 部名 農林部 課名 農政課 担当係長 寺林和弘 内線 6-284

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	06	01	03	8513	生産施設等整備事業

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			5,324		5,324
財源内訳	国・県		5,324		5,324
	地方債				
	その他				
	一般財源				

事業期間 単年度繰返 期間限定 [平成 年度 ~ 平成 年度]

部重点施策における目標
農業の生産性を高めるとともに作業効率の向上を進める。

事業開始の背景・経緯
花巻市の農業の持続的な発展を図るため、担い手の育成と農畜産物の産地拡大が必要である。このため、生産機械・施設の効果的な活用による経営改善を進め、経営環境の改善に係る支援を行っている。

事業概要
農業用施設・機械の整備に関する補助

○経営体育成支援事業（国事業、トンネル（H26→H27繰越）

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

・関係機関、市HPを通じて事業内容を周知しているが、すべての農業者に周知できていない。

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

○経営体育成支援事業（H26→H27繰越）

《経営体育成支援事業（国事業、トンネル）》

- ・目的：地域農業マスタープランに位置づけられた中心経営体に対する機械・施設の整備支援
- ・対象：地域農業マスタープランに位置づけられた中心経営体等
- ・補助率：次の①～③のうち最も低い額（3,000千円上限）

※H26補正対応のみ要件により10,000千円上限

①助成の対象となる経費に10分の3を乗じて得た額

②助成の対象となる経費のうち融資額

③助成の対象となる経費から融資額及び地方公共団体等による助成額を控除して得た額

【H26補正対応に係る内訳】

NO	助成対象者	導入機械・施設	事業費(円)	補助額(円)
1	(有) すぐね	色彩選別機1台	3,875,040	1,076,000
2	高橋四郎	コンバイン1台	6,145,200	1,843,000
3	高橋清孝	マニアスプレッター1台	1,620,000	486,000
4	照井英司	トラクター1台	5,036,540	1,399,000
4	照井英司	ロータリー	647,514	179,000
4	照井英司	オフセットモア	1,230,946	341,000
合計			18,555,240	5,324,000